

# LCDC を使って製品の表示システムのプラットフォーム資産を構築する方法

この資料では、LCDC を活用して御社製品における表示システムのプラットフォーム資産を構築する方法を解説しています。プラットフォーム資産があれば、表示システムをさまざまな製品で使い回すことができ、製品開発の工数削減に貢献します。今後、プラットフォーム資産があると製品開発の工数削減にもつながりますので、是非この資料をヒントに、御社の表示システムのプラットフォーム資産作りを推進してください。

[この資料を今後の検討用に申し込みする>>](#)

## ●この資料で学べること



- ・そもそも LCDC とは何か？ 何ができるのか？
  - ・製品開発の工数を削減する表示システムのプラットフォーム資産とは何か？
  - ・プラットフォーム資産があるとどんな利点があるのか？
  - ・エプソンの LCDC で表示プラットフォーム資産を構築する方法
- など、LCDC の効率的な活用方法について学べます。

## ●資料の主な掲載内容

1. LCDC とは？
2. LCDC の役割
3. LCDC のメリット
4. 表示システムのプラットフォーム資産とは？
5. プラットフォーム資産の利点
  - (ア) 利点「複数製品の高解像度化の開発工数を削減可能」
  - (イ) 利点「資産の長期間の有効活用も可能」
  - (ウ) 利点「品質向上」
6. エプソンの LCDC で表示プラットフォーム資産を構築する方法
  - (ア) 表示プラットフォーム概要
  - (イ) 表示プラットフォーム資産の構築手順
  - (ウ) エプソン LCDC の選定
  - (エ) 表示プラットフォーム資産概観

[この資料を今後の検討用に申し込みする>>](#)